
学生

小五郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

学生

【Nコード】

N3118T

【作者名】

小五郎

【あらすじ】

東北に住む学生の話。被災、新たな恋、引退……。実は半分事実、半分嘘だったりする。

揺れ1（前書き）

初めまして、小五郎と申します。初めての作品ですので少々下手ですが、是非ご覧になってください。

ちなみに私は「重松清」さんが好きです。

揺れ 1

その時、私は揺れた。地と共に。

私は『杜の都 仙台市』の周辺（半径100km以内）に住むごく普通の中学2年生だ。名前は今野^{こんのともやす} 友康

春の初めのことだ。午前の卒業式で先輩を見送った後、スーパーへ買い物へ行った。

コーラと・・・パン・・・それから初めて買う味長持ちガム。おっと砂糖も。コーヒーとパンにはこれが欠かせない。親には内緒で購入する。

レジに並ぶ。メガネを掛けたおばさんの後ろだった。その前に二人。カゴには安い野菜と菓子類が沢山入っていた。長くなりそうだ。

「おお、こんとも！」

不意に声かけられた。なぜ私を知っているのだと思うと同時に「えっ」と言いながら振り向く。大木が立っていた。とっさに私はカゴを後ろに隠していた。

大木は同じクラス。あまり話したことはないが、ムードメーカーである彼は誰にでも声を掛けては場を盛り上げるといふ奴だった。

「何してんの？」見れば分かるだろう。「い、いや買い物」「えっ、一人で!？」それも見れば分かるだろう。「うん」

「へえ〜そうなんだ。じゃあね」「うん、じゃあね」

不思議な笑みを浮かべて大木は立ち去った。月曜日には「この間、生協で会ったよね」と言ってくるだろう。

そんなことを思っているうちに順番が来た。代金は662円。

(えっと、なるべく釣り銭を少なく)

財布を見るが何を出せばいいのだろうと、とっさに計算できない私であった。結局千円札を出して338円という中途半端な釣りが返ってきた。店員から「なるべく釣り銭を多くしないように」という無言の圧力がかかってくるようだった。

家に帰る。食う。『こち亀』のDVDを見ながら寝っ転がる。何の変哲もない午後だ。よく太らないものだ。

この日は3時から床屋に行く。

(帰りに書店に寄って・・・池上彰の新刊あるかな・・・)そんなことを考えていた。

今日は金曜。明日の大嫌いな部活を終えれば、日曜は仙台へ一人旅。行きで松島に寄って、遊覧船乗って、仙石線で・・・。

カタカタカタカタカタカタ・・・

小さく揺れ始めた。一昨日もテスト中に少し大きいのが起こったな・・・。

次第に強くなっていく。

ゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴゴ・・・

(うお、これは少し強くなるぞ)

家の中で唯一安全な隣の座敷部屋に移動する。立とうとしたその時だった。

グラッ!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3118t/>

学生

2011年10月9日01時36分発行